

令和2年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- | | |
|-----|------------------------------------|
| I | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び |
| II | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成 |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築 |
| IV | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成 |

道府県・政令市名【 長野市 】

学校名【 三本柳小学校 】

1 実践テーマ	I・II・ III ・IV・V（複数選択可）
2 実施対象者 (学年・人数)	5年生・108名
3 展開の形式	<p>(1) 学校における活動</p> <p>① 教科名 (体育・総合)</p> <p>② 行事名 ()</p> <p>③ その他 ()</p> <p>(2) 地域における活動</p> <p>① イベント名 ()</p> <p>② その他 ()</p>
4 目標 (ねらい)	<p>パラスポーツに関わる体験や交流では、「出会い」「共に活動することを通して、一人一人の多様性や個性を認め、本校の校訓「人のやさしさのわかる子ども」を育成する。</p>
5 取組内容	<p>パラスポーツ体験とパラアスリート講演会</p> <p>(1) 講師：長野県障がい者スポーツ協会の加藤正さん</p> <p>(2) パラスポーツ体験（各学級）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボッチャの基本 ・対戦及び加藤さんとの交流 <p>(3) パラアスリート講演会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・加藤さんの足跡と生き方 ・共生社会に向けて



<p>6 主な成果</p>	<p>○共生社会に向けて、ともに活動することのよさを感じることができた。</p> <p>今日、初めてボッチャを体験して、最初は簡単だと思ったけれど、やってみると変なところに行ってしまうと、とても難しかったです。このスポーツは障がい者の人だけでなく健常者の人でも楽しめるスポーツだと私は思います。（児童感想から）</p> <p>○障がいの有無にかかわらず、夢に向かって生き生きと生きていくことの大切さを感じることができた。</p> <p>思っていたよりも投げるのが楽しかった。白いボールに近づいてみながら褒め合っていていいとおもいました。ボッチャをテレビで見て選手がとってもうまかったです。加藤さんのように夢に向かってすすむことの大切さを学びました。（児童感想から）</p> <p>○活動の中で、けがをしている友だちを支えながら楽しんだり、互いのがんばりを認め合ったり、思いやりの姿勢がみられた。</p>
<p>7実践において工夫した点（事業の特色）</p>	<p>・本校がこれまで推進してきた国際理解教育との関連で、ルワンダ在住で、地雷によって手脚を失った方に義肢の無償配布活動を行い、自らもパラスポーツに取り組むガテラさんとの交流を継続している。ただし、本年度は、感染拡大のために具体的な交流事業は見合わせている。</p>
<p>8主な課題等</p>	<p>・コロナ禍でも推進できる工夫（リモートによる交流や地域の人材の発掘等）を考えたい。</p>
<p>9来年度以降の実施予定</p>	<p>・パラリンピック観戦に向けて、「身近なひと・もの・こと」とのかかわりから自分ごととして考える事前学習を通して、パラスポーツを応援し、支えようとする意識を高める。</p>